

## 令和7年度タウンミーティング記録

日 時：令和7年11月6日(木) 19時～20時30分

会 場：佐倉地区センター

参加者数：12人

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	道路・環境	海岸や堤防沿いのごみ、草刈り後の刈草がそのままになっており、美観上・環境上問題である。ボランティアでは限界があるため、市の対応を求める。	企業版ふるさと納税を活用し、清掃活動費を確保する取組を進めている。県への要望も行い、機械貸出等を通じて負担軽減を図る。
2	道路・環境・町内会	草刈りや環境美化活動は高齢化により負担が大きい。町内会に未加入の住民との不公平感もある。作業中の事故対応も不安。市として支援策や町内会加入の促進を検討してほしい。	来年度より自走式草刈り機の貸出制度を実施予定。今後も地域団体との協働支援策を検討する。町内会加入についても転入者に案内はしているが、加入を強制することはできない。
3	CATV	新聞で報道されたケーブルテレビ事業の経過や現状について知りたい。	光ファイバー化に伴う費用負担の経緯について、現在議会の特別委員会が調査中。市としても全面的に協力しており、調査結果に応じて必要な見直しを行う。
4	環境	電動工具や家電のリチウムイオン電池の処分場所がわからない。安全面に不安がある。	市役所1階市民課の生活衛生係で回収を実施している。環境保全センターへの直接持ち込みも可能。今後、広報誌やホームページ等で周知を強化する。
5	公共交通	AI オンデマンド交通について、以前の市内循環バスからの移行状況や利用者層、今後の利用促進策について。	移行前に利用実態調査を行い、多くの利用者がオンデマンドに移行。不便の報告は少ない。今後は初回利用支援や周知強化を行い、利用拡大を図る。
6	道路・交通	市内の停止線や横断歩道の白線が消えて危険。早急に補修を求める。	毎月パトロールを実施し、危険度や通学路を考慮して順次補修中。特に危険な箇所は個別連絡をもらえれば優先対応する。

## 令和7年度タウンミーティング記録

日 時：令和7年11月7日(金) 19時～20時30分

会 場：御前崎地区センター

参加者数：35人

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	観光	上岬区太陽光発電計画中止後の土地を駐車場として活用してほしい。地権者も協力的で、無償貸与も検討可能とのこと。	前向きに検討する。現状予算面で課題はあるが、地権者との話し合いの場を設け、実現可能性を探る。
2	動物	地域猫活動において県の補助制度を待つだけでなく、市として積極的に地域猫活動を支援してほしい。	県事業開始を踏まえつつ、市でも啓発活動（パンフレット回覧等）を行い、段階的に取組を進める。
3	CATV	CATV 設備について市の出資で整備した施設が民間会社の所有となっており、経緯と説明が不十分。	市議会の特別委員会で調査中。市も全面的に協力し、結果は公開のうえ再発防止を図る。
4	教育	小学校や中学校統合の話が一部で出ているが、情報が市民に届いていない。早い段階で地域の意見を反映してほしい。	今後2年間で市全体の教育のあり方を市民とともに検討する。情報共有の仕組みを強化する。
5	農業	温暖な気候を活かし、アボカド等の新たな作物導入を進めてみてはどうか。	県と連携し検討していく。生産者の意見も踏まえて進める。
6	動物	市内に天然記念物であるニホンカモシカの出没が増えており、学校周辺の安全確保が不安。	現状、有効な対応手段は少ないが、情報共有と県・警察との連携を強化する。
7	公共施設	指定管理施設に管理人が不在で、利用者が不便を感じている。制度の見直しが必要。	実態を踏まえ、管理体制を見直す方向で検討。安全性と利便性を重視する。

## 令和7年度タウンミーティング記録

日 時：令和7年11月11日(火) 14時～15時30分

会 場：池新田地区センター（昼の部）

参加者数：14人

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	教育	池新田高校の将来について、県の方針や横須賀高校との統合などの動きはどうなっているか。市としてどのように位置付け、今後どう考えているのか。RR	現時点で県教育委員会から具体的な高校統合・再編の動きはない。池新田高校は地域づくりに重要で、市内高校の存在は地域活力の維持に欠かせない。今後もキャンパス制など柔軟な形を含め、動向を注視していく。
2	道路・交通	KO マート東側に横断歩道を設置してほしい。	地区からの要望書をもとに、危機管理課交通防犯係を通じて菊川警察署と協議する。設置可能かどうかを確認のうえ、対応を検討する。
3	リニア	リニア工事による大井川水系への影響を懸念。御前崎市は水源がないため、工事による水量・水質の変化は死活問題。県やJR任せにせず、市独自の強い主張を行ってほしい。	水量・水質に影響を及ぼさないよう強く要望し続けている。補償問題ではなく、「工事中のリスク確認」が最重要と考えている。今後も県の動きを注視しつつ、必要に応じて意見を伝えていく。
4	総合計画	総合計画はどのような手順で策定されているのか。市長や議会のビジョンが反映されているのか。	市民ワーキング、職員ワーキング、策定部会、策定委員会、審議会の5段階で多面的に検討している。市長も初期から意見を出し、将来都市像「安心と希望を未来へつなぐ 人が自然と共生するまち 御前崎」など自身のビジョンを反映している。
5	健康・スポーツ	市内で気軽に運動できる場所を増やしてほしい。	当会場（池新田地区センター）で毎週水曜日午後に健康運動教室を開催しており、誰でも参加できる内容である。市民が気軽に参加できる軽スポーツの場などを検討していく。

6	動物	住宅近くでイノシシに遭遇。市の対策は。	被害が増加しており、猟友会と連携して対応中である。
---	----	---------------------	---------------------------

## 令和7年度タウンミーティング記録

日 時：令和7年11月11日(火) 19時～20時30分

会 場：池新田地区センター（夜の部）

参加者数：17人

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	防災	南海トラフ地震発生時の福祉避難所の運営体制について。	障がい者・高齢者向けに市内4か所の福祉避難所を指定しており、専門職員の派遣を早期に受援要請する体制を整えている。ただし、広域災害時には支援の遅れも想定されるため、地域や家族による協力体制の確保が重要となる。
2	道路	都市計画道路工事の進捗と今後の延伸計画について。	令和11年の完成を目指し、県と市が連携して用地交渉を進めている。現時点での延伸計画は未定である。
3	環境・ごみ	ゴミステーションの管理・マナー改善について。	広報誌等による広報や啓発活動を継続的に行う予定である。
4	防災	南海トラフ地震時の断水対策・飲料水確保について。	市内に耐震性貯水槽を8か所（計約840t）整備している。給水タンク・バッグの活用により他地区との融通も可能としている。また、国の計画では陸路、海路、空路により飲料水を含む支援物資を輸送する計画となっている。 また御前崎港が使用できる状況であれば、防災拠点港湾として支援物資輸送に活用する計画がある。

## 令和7年度タウンミーティング記録

### 事前にいただいた意見・提案

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	道路	佐倉のカインズホーム付近・上ノ原交差点と消防団6分団詰所付近の交差点では、大型自動車通過時の音と振動が非常に激しいため、現地での確認をお願いしたい。	早急に現地を確認し、必要に応じて対応する。
2	AI オンデマンド交通	乗車予約はコールセンター（0570 ナビダイヤル）かアプリで可能だが、電話は通話料金がかかることが多い。「まおまおCATV 電話」は料金不要のため、多くの人が両方を使うと考えられる。CATV 電話も予約手段に加えてほしい。	本サービスでは、運営コスト削減と専門対応のため、複数の自治体のコールセンターを県外に設置し、現在はナビダイヤルで対応している。CATV 電話での対応は今後の参考とさせていただく。
3	環境	市民課窓口にキエーロコンポストがあり、自作と補助金申請が可能。LINE でキエーロバッグは広報されたが、自作についての周知は不足している。御前崎市のマイボトルプロジェクトのように、キエーロプロジェクトも検討し、LINE での周知をお願いしたい。	本市の「生ごみ減量・再資源化促進事業費補助金」は、生ごみ処理機器や家庭用電化製品が対象で、自作の「キエーロコンポスト」や「バック型コンポスト」も補助対象。また、コンポスト講座の開催なども行っている。補助金などの情報は、LINE や広報おまえざき5月号で広報した。今後も多くの方に届くよう、努めていく。
4	環境	現在静岡市、浜松市では市の施設に小型家電の回収ボックスを設置してある。御前崎市にも設置を検討してもらいたい。	市では小型家電の回収方法として、集積所での金物収集のほか、リネットジャパン株式会社と協定を結び、パソコンなどの小型家電を宅配便で自宅回収している。また、静岡市や浜松市の回収ボックス設置については、地域のニーズなどを踏まえ、必要に応じて検討していく。

5	市役所	昨年度のタウンミーティングで、市役所窓口の職員が何度も上役に確認に行く非効率な対応について意見が出たが、その後改善されたか。	窓口における職員の対応については、全職員に周知し、無駄な対応が生じないようにワンストップを念頭に置いて対応している。
6	タウンミーティング	意見交換の時間を確保するために職員紹介など簡略化できないか。	幹部職員の自己紹介を簡略化し、司会からの紹介のみとした。
7	市役所	市役所1階のバーチャル受付は実際の人間と比べ使いづらく、設置しない方が良いと感じる。一方で利用者のために、内線電話設置や入口近くの担当課での対面対応が望ましい。バーチャル受付を導入した理由を知りたい。	以前は市役所1階ロビーに委託業者の人員を配置し案内対応をしていたが、現在は人手不足と新しい働き方推進のため、離れた御前崎支所の委託業者が遠隔で対応している。令和6年4月に導入したアバター窓口についても様々なご意見をいただいている。今後も分かりやすく安心できる庁舎案内を目指して検討していく。
8	雇用	御前崎市には常設のハローワークがなく、一日ハローワークが出張している。市役所入口のシニア向け求人冊子は認知度が低く、目立たない場所に置かれているため改善が必要。図書館のように目立つ場所に設置し、認知度を高めることが重要である。	本市にはハローワークの拠点がないため、御前崎市役所に年6回出張していただき、「1日ハローワーク」として職業相談や求人情報を提供している。また、毎週金曜日にシニア向け求人情報冊子を市役所や支所、図書館などに掲示している。認知度が十分でない点は課題と捉え、今後は広報やホームページで周知強化を図っていく。図書館での求人情報誌(ドコモ)横への掲示については、すでに冊子を掲示中であるが、より目につく場所の工夫も検討していく。
9	観光	御前崎灯台は令和3年に国の重要文化財に指定され、多くの観光客が訪れているが、駐車場が不足している。急な階段のため子供や高齢者の利用が困難で、地元住民は灯台近くの駐車場整備を望んでいる。北側の空き地の太陽光発電計画は反対で中止となり、地権者は処分を検討中。地元は市に対し、その空き地の購入または借地を提案し、使いやすい駐車場整備で観光発展を期待している。	御前崎灯台周辺には、市営の無料駐車場や民間の有料駐車場があるが、台数が限られている。ご指摘を踏まえ、市内全域の駐車場やトイレなど公共施設の効率的配置と計画的な維持管理を検討し、今後も灯台を訪れる皆様が安心して楽しめる環境づくりに努めていく。

10	動物	<p>地域猫活動について、TNRm 活動（保護、避妊去勢手術、元の場所に戻す、管理）の普及を提案したい。</p>	<p>所有者不明の「野良猫」に関する相談や苦情が寄せられているが、命を大切に繁殖抑制に取り組む方もいることから、地域住民間で誤解やトラブルが起きることもあり、市として適切な対応と情報発信の重要性を認識している。市は動物保護協会と連携し、不妊去勢手術の支援や飼い猫の室内飼い推進と広報に努めている。また、来年度開設予定の「動物愛護センター」は県の事業で詳細はまだ不明だが、分かり次第市民にお知らせ予定である。地域猫活動の理解促進と住民間トラブル解消に努めるとともに、引き続き適正飼育の広報も強化していく。</p>
11	観光・道路	<p>①マリンパーク丘部分の草木除去整備  ②観光物産会館（なぶら館）の活用(車中泊設備の増設、入浴施設の増築など)  ③御前崎港マリーナの活用（釣り公園、貸しボートなど）  ④ヤシの木道路の樹木、サンロードの枯れた松の整備</p>	<p>①12月に草木の除去を実施する予定。景観整備に努めていく。  ②観光協会と共に活用強化している。提案については今後検討していく。  ③御前崎港全体は静岡県御前崎港管理事務所、御前崎港マリーナは御前崎埠頭株式会社が管理・運営しており、ご提案は企業様と相談していく。  ④ヤシの木道路は静岡県御前崎港管理事務所が管理しており、隣接する港湾緑地の高木についても同事務所に伐採を要望していく。  サンロードは、県立自然公園や保全林に指定されているため、樹木伐採には関連法規の手続きが必要で、厳重に管理されている。  景観改善は観光振興に直結すると考え、管理主体の静岡県に対し、状況と改善の必要性を要望していく。</p>
12	教育	<p>御前崎中学校の今後の展望は。</p>	<p>牧之原市は令和 15 年度に相良地域義務教育学校の計画を進めているため、御前崎中学校の今後を心配する声が多く聞かれる。本市では、市内の小中学校のあり方を検討するため、多くの方から意見を聴取したいと考えている。  今後も保護者への説明を続けつつ、教育の質を確保し、充実した学びを保証するため、約 2 年かけて市民の声を踏まえ、方針を決定していく。</p>

13	空き家	市の具体的な空き家対策を知りたい。	本市の空き家は令和7年4月時点で189軒ある。補助金や見守り支援、移住者への紹介、セミナーや相談会など多様な支援を行っている。空き家問題は増加が予想されるため、第2次対策計画を策定し、適切な管理と利活用を所有者と共に進めていく。
14	CATV	御前崎市の光ファイバー網整備事業について、責任や是正策が不明確で疑問がある。2019年に御前崎ケーブルテレビと14.8億円の契約を結び、約8.25億円を支出。議会承認なしの市長決裁で公平性に欠ける。現在、議会特別委員会が調査中だが、市民として早急な経緯説明と調査公表、再発防止策の提示を求める。	光ファイバー化に伴う費用負担の経緯について、現在議会の特別調査委員会が調査中である。市も全面的に協力しており、調査結果に応じて必要な見直しを行う。
15	条例	アメリカの州法のように、本市でも実態に即した市独自の条例制定をしてみてもどうか。	地方自治法第14条第1項により、自治体の条例は国の法令に反しない範囲で効力を持ち、地域の実情に応じた条例制定と国家法令との整合性が求められる。本市独自の条例も前提に基づき、柔軟に検討していく。
16	観光	御前崎から伊豆半島へのカーフェリーを提案する。	今後の港湾活用や広域交通施策の参考とし、関係者で情報共有する。
17	防災・防犯	消防署北側の鳥羽石油付近から静岡銀行北側の中町交差点までの道路は整備されてきれいになったが、街灯がなく夜間は非常に暗い。夕暮れ時間が早まる時期で交通事故の危険が増すため、早急に街灯設置を要望する。	当該道路は、県道のため道路管理者は静岡県である。県は2017年3月31日から緊急輸送路に指定された道路(車道・歩道含む)に新設電柱の占用制限・禁止をしている。これを受け本市では、防犯灯設置に対しては、できる限り電柱への添架をお願いしている。添架が不可能であれば、ポールでの設置は可能である。ただし、道路内への設置には占用許可が必要となる。
18	議会・財産区	財産区の収支報告は住民の重要な権利として金額に関わらず公開すべきであり、不適切発言も過去分含め公開を求める。議会で反対意見が出しにくい雰囲気や議長の立場への疑問もある。市民のための議会運営について市長の考えを伺いたい。	財産区の運営には住民の意思を反映するため、各地区から推薦された7名の管理委員が維持管理を行っている。 収支報告は市議会のほか財産区管理会でも報告しており、過去の決算書は御前崎市立図書館でいつでも閲覧可能である。

19	観光	<p>あらかわふるさと公園は自然豊かで野鳥の鳴き声が聞こえる場所でバーベキューができ、会社の懇親会や親睦会にも利用できる施設である。ぜひ市からもアピールする機会を増やしてほしい。このような場所は近隣には少なく、市外からも人を呼び込む可能性があると考えられる。</p>	<p>あらかわふる里公園は市民の憩いの場であり、地元野菜販売や自然の中でのバーベキューなど市外からも人を呼べる強みがある。</p> <p>管理は有限会社グランパークあらかわに委託しており、ご意見を踏まえSNS等を活用した情報発信や魅力向上に努めていく。今後も運営者と協力し、より多くの方に訪れていただける公園を目指す。</p>
----	----	---	---